

## 《開幕》森美術館

# 「カタストロフと美術のちから展」同時開催プログラムのご案内

会期：2018年10月6日(土)―2019年1月20日(日) 会場：森美術館(六本木ヒルズ 森タワー53階)



MAMコレクションは、森美術館の収蔵品を、多様なテーマに沿って順次紹介する展覧会シリーズです。

## MAMコレクション008：会田 誠とChim↑Pomのカラス

主催：森美術館

企画：熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

出展作家：会田 誠、Chim ↑ Pom

本展では、カラスという身近な鳥を主題とした、会田誠とChim ↑ Pomの作品をご紹介します。カラスは、吉兆を示す鳥あるいは太陽の象徴として世界中の多くの神話に登場する一方、腐肉食や黒い羽毛が死を連想させることから、悪や不吉の象徴としても繰り返し描かれてきました。会田の作品は、惨事の後を思わせるディストピア的な風景が、屏風絵という日本の伝統的な様式のもとに描かれています。Chim ↑ Pomの作品では、メンバーのエリイが、バイクの後部座席にまたがり、カラスのはく製と録音したカラスの鳴き声が流れるスピーカーを持って都内の様々な場所を訪れます。会田誠とChim ↑ Pomはどちらも、独自の観点、手法を用いて社会的、政治的な問題に切り込んでゆくことで知られています。カラスという共通した題材をもとに制作された両アーティストの作品は、我々の生きる社会を異なる視点から観察する好機を与えてくれるでしょう。



会田 誠  
《電信柱、カラス、その他》  
2012-2013年  
六曲一隻/アクリル絵具、キャンバス、パネル  
360×1,020 cm  
展示風景：「会田誠展：天才でごめんなさい」森美術館(東京)2012-2013年  
撮影：渡邊 修

Chim ↑ Pom  
《BLACK OF DEATH》  
2007年  
ラムダプリント、ビデオ  
117.5×78.5 cm、9分13秒



### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内)：津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22同和ビル

MAM  
SCREEN

MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから選りすぐりの  
シングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

## MAMスクリーン009：シュウ・ジャウエイ（許家維）

主催：森美術館

企画：片岡真実（森美術館副館長兼チーフ・キュレーター）

シュウ・ジャウエイは、アジア各地の歴史のなかで、正史とされる歴史からは読み取れない複雑な物語を、美しい映像作品やインスタレーションに描き出してきました。綿密なリサーチに基づいたそれらの物語は、政治的、社会的な時代の荒波に翻弄された個人史や、語られて来なかった歴史の断片を明らかにします。本スクリーニングでは、日本統治時代の台湾総督府工業研究所に秘められた物語や、冷戦時代のタイとビルマの国境近い村で、諜報員や孤児院の代表、牧師など複数の人生を演じてきた男の物語などが語られます。シュウは産業化、都市化、当事者の高齢化などによって失われていく地域の記憶や散在する資料を集め、この世界の複雑さや多様さ、記憶の不確定さなどを私たちに意識させてくれるのです。



《高砂》 2017年  
ビデオ 9分20秒



《諜報局の廃墟》 2015年  
ビデオ 13分30秒  
制作：Le Fresnoy

### 上映作品

※当プログラムは約55分で、毎時00分から下記作品をA→B→C→A→D→Eの順で上映します。

※ラーニング・プログラム等実施のため、「MAMスクリーン」の上映のない時間帯があります。詳細は、森美術館ウェブサイトをご覧ください。 [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

- |                          |       |  |
|--------------------------|-------|--|
| A. 《ドローン、ヒナコウモリ、故人たちの証言》 | 2017年 | 3分40秒 – 8分40秒  |
|                          |       | ※本作品では19件の口述記録がコンピュータによってランダムに操作されて上映されるため、毎回上映時間が異なります。 |
| B. 《高砂》                  | 2017年 | 9分20秒  |
| C. 《核崩壊タイマー》             | 2017年 | 8分40秒  |
| D. 《回莫村(ホエイモ村)》          | 2012年 | 8分20秒  |
| E. 《諜報局の廃墟》              | 2015年 | 13分30秒   |

### シュウ・ジャウエイ（許家維）

1983年台中生まれ。国立台湾芸術大学卒業。2014～2016年にはフランスのル・フレノア：国立現代アートスタジオで本格的に映画技術を学ぶ。ヒューゴ・ボス・アジア・アート賞ファイナリスト(2013年)、第15回台新芸術賞グランプリ受賞(2017年)。



シュウ・ジャウエイが出演するラーニングプログラムの開催を2019年1月に予定しています。

詳細は後日、ウェブサイトでご案内します。 [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内)：津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

MAM  
RESEARCH

MAMリサーチは、アジアの現代美術を中心に特定の作家や動向に着目し、歴史的、社会的な文脈とともに考える資料展示です。

## MAMリサーチ006:クロニクル京都1990s—— ダイヤモンド・アー・フォーエバー、アートスケープ、そして私は誰かと踊る

**主催:** 森美術館

**企画:** 椿玲子(森美術館キュレーター)、石谷治寛(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)

**企画協力:** 京都市立芸術大学芸術資源研究センター、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(アーティスト)、  
山中透(ミュージシャン)、シモーヌ深雪(シャンソン歌手、ドラッグクィーン)、  
佐藤知久(京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授)

1990年代の京都、特に左京区では、アート、アクティビズム、クラブカルチャーなどが共存し、多様な表現活動が自由に行なわれていました。ダムタイプなど京都市立芸術大学出身者のまわりに、現代美術、ドラッグクィーン・パーティ「ダイヤモンド・アー・フォーエバー」、HIV/エイズの啓発を行うAPP(エイズ・ポスター・プロジェクト)、セクシュアリティを問い直す活動、様々な活動の拠点としてのアートスケープなど、多くのコミュニティがゆるやかに形成されていました。「そして私は誰かと踊る/And I Dance with Somebody」は「AIDS」の頭文字を使ったキャッチフレーズで、「第10回国際エイズ会議」のためにAPPによって考案されたものです。

文化、宗教、言語、ジェンダーの多様性や人権についての議論が高まりを見せている今日、四半世紀前の京都の、凝縮された磁場への再訪となる本展は、現代社会の閉塞感を突破するヒントとなるでしょう。

「ダイヤモンド・アー・フォーエバー」  
メトロ(京都) 1990年代初頭



### ?! MAMリサーチ006 関連プログラム

#### ■トークセッション 第1回「1990年代の京都をいま振り返る」 ※日本語のみ

ダムタイプ、アートスケープ、地塩寮ウィークエンド・カフェ、APP(エイズ・ポスター・プロジェクト)、QFF(「レズビアン・ゲイ映画祭」京都・大阪実行委員会)などの活動を振り返ります。

**出演:** ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(アーティスト)、砂山典子(ダンサー、パフォーマンスアーティスト)、アキラ・ザ・ハスラー(アーティスト)、宮田ヒロシ(クリエイティブ・ディレクター)

**モデレーター:** 石谷治寛(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)、椿玲子(森美術館キュレーター)

**日時:** 2018年10月6日(土) 14:00-16:00(受付開始:13:30) **会場:** 森美術館オーデトリウム **定員:** 80名(要予約)

**料金:** 無料(ただし、当日有効の「カタストロフと美術のちから展」チケットが必要です)

**詳細:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

**お申し込み:** 受付は終了しました。

**プレスリリース** お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田  
Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

## ■トークセッション 第2回

### 「ダイヤモンドは永遠に—日本におけるドラッグクィーン・パーティーの起源」※日本語のみ

1991年より京都のクラブ「メトロ」で定期的開催されるようになったパーティー「ダイヤモンド・アー・フォーエバー」。当時の京都のアートシーンやドラッグクィーン・カルチャーについて関係者が語ります。

**出演:** D| LaLa(ミュージシャン)、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(アーティスト)、マミー・ムー・シャングリラ(サウンド・アーティスト)、D・K・ウラチ、シモヌ深雪(シャンソン歌手、ドラッグクィーン)

**モデレーター:** 石谷治寛(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)、椿玲子(森美術館キュレーター)

**日時:** 2018年12月12日(水) 19:00-21:00(受付開始: 18:30) **会場:** 森美術館オーデトリウム

**定員:** 80名(要予約) **料金:** 無料(ただし、当日有効の「カタストロフと美術のちから展」チケットが必要です)

**詳細・お申し込み:** 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

関連プログラムに関するお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 e-mail: [mam-learning@mori.co.jp](mailto:mam-learning@mori.co.jp)

## ◎MAMリサーチ006関連イベント

### ■ドラッグクィーン・パーティー&フィルム・スクリーニング 「DIAMONDS ARE FOREVER TOKYO」※日本語のみ

ドラッグクィーン・パーティーと1994年に自主制作された映像作品『ダイヤモンド・アワー』の上映が一体となった豪華なパフォーマンスが繰り広げられます。

**主催:** DIAMONDS ARE FOREVER **協力:** 森美術館

**出演:** D| LaLa、D| kor、シモヌ深雪、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、マミー・ムー・シャングリラ、フランソワ・アルデンテ、アフリーダ・オー・ブラート、そよ風さん、ショコラ・ド・ショコラ、サナ・サイーダ、オナン・スペルマーメイド、ダイアナ・エクストラバガンザ、エンジェル・ジャスコ、おりいづら、ウラジミール・パウダリーナ ほか

**日時:** 2018年12月11日(火) 19:00-00:30(受付開始: 19:00)

1部: 飛び出すダイヤモンド・アワー(3D) 2部: Show The Revue on Revue

**会場:** AiSOTOPE LOUNGE(アイソトープ・ラウンジ) Web: <https://aliving.net/>

**料金:** 当日3,500円(1ドリンク付き) フライヤー割引: 3,000円(1ドリンク付き) ※本イベントのフライヤーを当日ご持参ください。

本イベントに関するお問い合わせ: AiSOTOPE LOUNGE Tel: 03-6380-1504

## MAMコレクション008/MAMスクリーン009/MAMリサーチ006基本情報

**会期:** 2018年10月6日(土)–2019年1月20日(日) **会場:** 森美術館(六本木ヒルズ 森タワー53階)

**開館時間:** 10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 \*2019年1月1日(火・祝)は22:00まで \*いずれも入館は閉館時間の30分前まで  
\*会期中無休

**入館料:** 「カタストロフと美術のちから展」チケットで鑑賞可 一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳–中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 \*表示料金に消費税込 \*「カタストロフと美術のちから展」のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) \*スカイデッキへは別途料金がかかります

**一般のお問い合わせ:** Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 森美術館ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)

## プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル